

ブレーキ付・ロック付シリンダ

信頼と実績のあるメカニカルロック機構で、
設備の安全性向上に貢献

ブレーキ付・ロック付シリンダとは



エアシリンダにブレーキユニット/ロックユニットを一体化
エア供給OFFでブレーキ/ロック作動
設備メンテナンス時や停電による動力遮断時に落下防止
エンドロック機構と違い、ストローク途中でどこでも停止可能。

安全

停電時・事故時でもワークなどの安全を確保。

省エネ

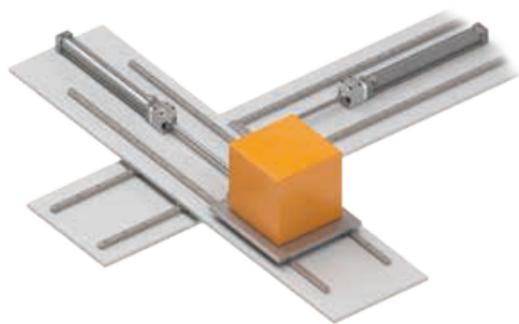
ブレーキ・ロックしている間、電気・エアなどの動力不要。

タイプ別用途

シリンダタイプ	用途	ロック方向	回路構成
ブレーキ付シリンダ	動作時の停止	両方向	バランス用レギュレータ、 ブレーキ解除用バルブ必要
	静止状態の保持		
ロック付シリンダ	静止状態の保持	片方向	バランス用レギュレータ、 ロック解除用バルブ不要

用途例

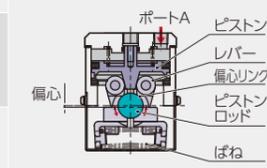
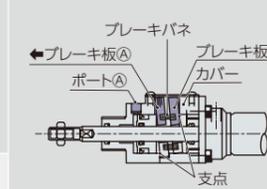
停止位置保持



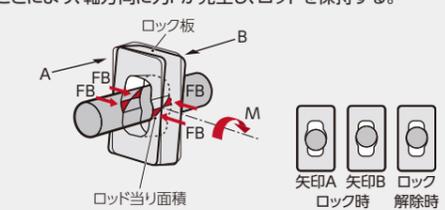
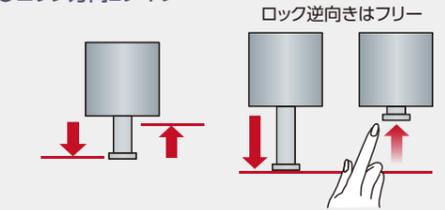
停電時・非常停止時の位置保持



ブレーキ付シリンダ

機種	駆動シリンダ	保持力(N)	ブレーキ方式
JSK2	CMK2 φ20~φ40	186~765	ロッド挟み込み方式  <ul style="list-style-type: none"> ●ブレーキ解除原理 ポートAより給気すると下部のピストンが押されて、レバーを開きレバーに直結した偏心リングが回転して、ピストンロッドはフリーとなる。 ●ブレーキ作動原理 ポートAより排気するとばね力によって偏心リングが回転して偏心荷重を発生し、ピストンロッドにブレーキをかける。
JSM2	CMA2 φ20~φ40	186~765	
JSG	SCG φ40~φ100	980~6178	
JSC3	SCA2 φ40~φ100	980~6178	
JSC4	SCS2 φ125~φ180	9600~20000	斜板方式  <ul style="list-style-type: none"> ●ブレーキ作動原理 ポートAより排気するとブレーキ板A,Bはそれぞれの支点より矢印方向に傾き、シリンダ推力によりブレーキ力が増幅され、ピストンロッドを保持する。 ●ブレーキ解除原理 ポートAにより給気すると解除ピストンよりブレーキ板A,Bが押され、ブレーキ板とピストンロッドは直角となり、ピストンロッドはフリーになる。
ULK	CMK2 φ20~φ40	251~1005	
SRT3	SRL3 φ12~φ63	66~1870	

ロック付シリンダ

機種	駆動シリンダ	ロック力(N)	ロック方式
USSD	SSD φ20~φ100	150~3847	●耐摩耗性の高い円形スリット方式 寿命面に優れた新落下防止機構採用。ロック板に回転力Mを加えることにより、軸方向に力Fが発生し、ロッドを保持する。 
USC	SCA2 φ40~φ100	1005~6283	
UFCD	FCD φ25~φ63	345~2200	●ロック方向2タイプ ロック逆向きはフリー 
UCAC-N	CAC-N φ32~φ40	631	
UCAC2	CAC4 φ50~φ63	1470	

ブレーキ付・ロック付

ULK※

JSK2・JSM2

JSG

JSC3・JSC4

USSD

UFCD

USC

シリンダスイッチ

巻末

シリンダスイッチ

巻末